

平成十八（二〇〇六）年度 法学研究科博士課程前期2年の課程 入学試験問題（A方式）

科 目 名	刑 事 訴 訟 法
	<p>一 任意捜査の限界について、具体例を挙げながら論じなさい。（配点五〇）</p> <p>二 犯罪の謀議に参加した者が、謀議の結果確認された内容を記載した、いわゆる犯行計画メモの証拠能力について論じなさい。（配点五〇）</p>